

企業が抱える環境課題を解決する
自由にイノベーターなアイデアを大募集!



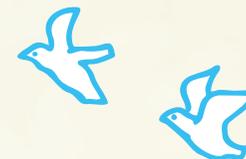
脱炭素社会を実現するアイデア実践コンテスト



ECOコン

AKITA 2025

秋田県生活環境部温暖化対策課



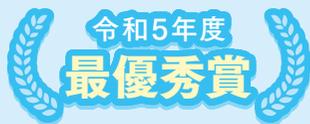
目的

地球温暖化は、気温の上昇のみならず、大型台風や豪雨をはじめとした異常気象などの様々な気候変動や、自然災害をもたらす要因と考えられています。

本県においても、記録的な大雨や、「災害級」ともいえる猛暑、記録的な暖冬少雪など、気候変動や地球温暖化の影響が大きく現れ、私たちの暮らしの現実の脅威としてその姿を現してきています。

こうした中、2050年カーボンニュートラルの達成に向け、環境問題に関心が高い層のみならず多くの県民の環境配慮行動の実践につなげる手法を探るとともに、2050年の社会において中心となって活躍する若者の環境問題に対する意識を高めることを目的として、本事業を実施しました。

過去の最優秀アイデア



電灯の消し忘れ防止

電灯を消すと、暗闇が好きなフクロウが喜んだり、蓄光で光る星が見られたりするアイデアで消灯を呼びかけました。



事業概要

若者が県内企業と連携して脱炭素社会の実現に向けたアイデアを実践する事業です。

参加者は、連携企業から提示された環境課題(テーマ)に対し、若者の視点を生かした独自の解決アイデアを企画しました。専門家のサポートのもと、連携企業との協働を通じて、アイデアの実社会での実践とその効果検証に取り組みました。

最終審査会で企業への提案の形で実践成果を発表し、優れたアイデアは県によって表彰されました。



子どもの食品ロスを減らそう!

普段使っている食器の裏にシールを貼り、完食したらシールをはがして専用の台紙に貼ることでコレクションができるアイデアで、食品ロスの削減を促しました。



対象

県内の高校生、大学生、 専門学校生等

※グループ・個人とも可
※25歳までの社会人も可



アイデアの実践サポート

参加者が円滑にアイデアを実践・検証できるよう、
次の支援を行いました。

① アドバイザーによる伴走支援

② 物品の制作・印刷

アイデアの実践に当たり、必要となる物品の制作への支援
や啓発物の印刷等を行いました。

※上限額／1組15万円程度(単価3万円未満)

③ 必要経費の負担

活動施設の利用料等を負担しました。

令和7年度の コンテストの流れ

事業説明・研修……………オンラインで受講

エントリー・アイデアの提出 …… 6月25日まで

アイデアの選考 …………… 7月23日

アイデア研修会・企業訪問 …… 8月8日

アイデア実践 …………… 8月～11月

中間報告会 …………… 10月12日

最終審査会・表彰式 …………… 12月23日

連携企業

県内の連携企業2社が、「脱炭素社会に向けて取り組みたい環境に関する課題」についてテーマを設定。参加者は独自の着想で課題解決のアイデアを提案し、企業と連携して実践に取り組みます。

ヤマト運輸 株式会社

テーマ

CO₂削減に向けて県民が宅配便を1回で受け取るアイデアを企画せよ

- ヤマト運輸(株)秋田主管支店では社員の働き方の改善、CO₂削減を目的として数年前より不在率にこだわり、取り組んでおります。
- これまで、無料会員サービスのクロネコメンバーズの活用による配達状況の確認や時間帯指定配達の促進、宅配ロッカー設置、昨年は置き配サービスの開始なども行うことにより、5年前と比べ不在率は半減しています。現在は、約250台/日で36,000個/日ほどの荷物を配達(県内)しておりますが、そのうちの約4%(1,200個)が不在荷物となっております。
- 今以上に成果を出していくために、県民の皆さまと一体となって取り組むことでCO₂削減につなげるとともにより便利で快適な秋田県にしていきたいと考えています。

会社HP



※例：クロネコメンバーズ利用による時間指定の増加、宅配BOX普及等

株式会社 マルダイ

テーマ

ごみの発生を抑制する行動につながる、若い世代や地域を巻き込みながら展開するスーパーマーケット主催のクリーンアップ活動の仕組みを提案せよ

- 地域密着型スーパーマーケットのマルダイは、未来の秋田をより美しく持続可能な地域にするため、若い世代や地域の方々を巻き込みながら展開する新しいクリーンアップ活動を構想しています。
- この活動は単にごみを拾うだけでなく、ごみ問題の根本原因への気づき、日常生活での行動の見直しを促し、ごみの発生抑制のための具体的なアクションへつなげることを目指します。
- マルダイを拠点に、この仕組みを皆さまと一緒に創出していきたいと考えています。

会社HP



※ごみの発生を抑制する行動の例：
リサイクルボックスの活用、環境に優しい商品の購入等

事業説明・研修

応募者を対象に、ECOコン事業の説明動画と
アイデア企画のための研修動画をオンラインで配信しました。



環境問題についての講義
一般社団法人あきた地球環境会議
福岡 真理子 様

アイデアの選考

応募のあったアイデアを選考するため、大学教授等有識者4名の選考委員による書類審査を行いました。



審査ポイント

- ・脱炭素社会実現への効果が期待できるか
- ・ECOコンの主旨に合致し、実現可能なものであるか
- ・アイデアに独創性があるか
- ・企業の課題を理解し、テーマに合致したものであるか

など

審査の結果、20組の応募アイデアの中から
4組が採用されました！

選考通過者

- 1 秋田コア ビジネスカレッジ たまこんカルテット
「エコ・ニコフェスタ～拾って、遊んで、街をきれいに～」
- 2 秋田工業高等専門学校 園芸科学同好会
「置き配不安」にさよならを！見守り×補償で安心置き配
- 3 秋田大学 EcoPop
「ミライ便～未来の環境のための宅配～」
- 4 新屋高校 いおりん
「拾うと貯まるマルダイポイント！」

アイデア研修会 (令和7年8月8日)

環境問題の専門家の講師による研修の後は、参加者同士で意見交換をしたり、講師や企業担当者から助言をいただいたりすることで、自分たちのアイデアをブラッシュアップしました。

研修内容

- ・課題解決の基礎研修
- ・アクションプラン作成ワークショップ
など



講師

一般社団法人あきた地球環境会議
岩本 承子様・川上 由子様

企業訪問 (令和7年8月8日)

学生が各連携企業を訪問。アイデアの実践現場を確認するとともに担当者の想いや現状の課題に触れ、さらにアイデアに磨きをかけました。



中間報告会 (令和7年10月12日)

「第23回あきたエコフェス」のイベントステージにて、一般の来場者を前にこれまでの活動のまとめを発表し、その後の実践活動へとつなげました。



アイデア実践

1 秋田コア ビジネスカレッジ たまこんカルテット

「エコ・ニコフェスタ～拾って、遊んで、街をきれいに～」

目的

マルダイを中心とした地域でのクリーンアップ活動を推進するとともに、若い世代・子育て世帯にゴミへの関心喚起や意識変容を促す

活動内容

クリーンアップに、エコ緑日やフォトコンテストを組み合わせた「エコ・ニコフェスタ～」を開催。またイベント周知やアンケートを実施

検証方法

成果達成指標を参加人数に設定
イベントを2回実施し、1回目と2回目の参加人数を比較

1回目

開催内容

- ✓ クリーンアップ
- ✓ エコ緑日
- ✓ フォトコンテスト



周知方法

- ✓ チラシ2,000部配布 (マルダイ牛島店、小学校6校、公共施設1か所)
- ✓ マルダイ店舗でのポスター掲示
- ✓ Instagram(1回更新)
- ✓ あきエコどんどんアプリ (お知らせ1回)



2回目

開催内容

- ✓ エコ緑日
 - ✓ フォトコンテスト
- ※クマ出没状況を鑑み、クリーンアップ活動は開催中止

代わりに
↓代わりに
店舗でパネルアンケートを設置し、意識調査を実施



周知方法

- ✓ チラシ2,500部配布 (マルダイ土崎店、小学校5校、保育園4園、公共施設1か所)
- ✓ マルダイ店舗でのポスター掲示
- ✓ Instagram(6回更新)
- ✓ あきエコどんどんアプリ (お知らせ1回)



結果

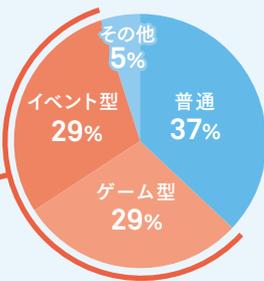
参加人数

1回目と2回目を比べると

25%増

**ゲーム型
イベント型
約60%**

参加したい
クリーンアップ活動



企業への提案

楽しみながらメリットを実感できるイベント型クリーンアップ

子ども・親子連れ・若い世代

エコ緑日・エコ工作などのイベント型

地域の住民・スーパーのお客様

ポイント制などのメリット型

アイデア実践

③ 秋田大学 EcoPop

「ミライ便～未来の環境のための宅配～」

目的

不在の時間が多い大学生に向け、再配達の手間・環境負荷への認知を高め、受取方法の意識を向上させ、不在率8.0%を目指す

活動内容

1回での受け取りでプレゼントがもらえるキャンペーンの開催、ポスターやYes, Noクイズの大学内掲示

検証方法

広面地区における不在率を前年同月と比較し、活動の効果を検証

チラシ



ポスター



結果

11月の不在率

本年	前年	前年差
7.8%	9.5%	-1.7%

目標である
**不在率8.0%以下
達成**

企業への提案

1回で受け取るキャンペーン

1枚集めて、はがき郵送or営業所で交換する等、条件を緩和して行動変容を促す

SNS・ポスター等でYes, Noクイズを実施

ターゲットにとって魅力的なプレゼント贈呈

最終審査会・表彰式 (令和7年12月23日)

これまでの取り組みの成果を発表！
審査員が評価を行った後、表彰式を行いました。



発表時間 各組10分
質疑応答 各組10分
審査員 大学教授等有識者4名
審査基準 次の4つの項目を審査

企画力

実践・分析

実現性

プレゼン能力

最優秀賞 (1組) 副賞:5万円相当の賞品
優秀賞 (2組) 副賞:2万円相当の賞品

▼発表の様子



審査の結果、
秋田工業高等専門学校 園芸科学同好会の
「置き配不安”にさよならを！
見守り×補償で安心置き配」
が最優秀賞に選ばれました！



学生インタビュー

今回の活動を通しての感想を参加者に聞いてみました。



秋田コア ビジネスカレッジ たまこんカルテット

アイデアを一から企画し、実践までやり遂げることは大変でしたが、チームで協力する中で、最後までやり遂げることやチームワークの大切さを学びました。今回学んだ環境問題についての知識を周囲に伝え、意識の変化につなげていきたいと思います。

連携企業
担当者様の
コメント

株式会社マルダイ 須藤様

脱炭素社会の実現に向けた、皆さんの取り組みや意思が今回だけでなく、後輩などに引き継がれて根付いていくと素晴らしいことではないかなと思います。



秋田工業高等専門学校 園芸科学同好会

一人ひとりの行動による変化は小さくても、集団で行動することで大きな変化につながることを知り、驚きました。行動を起こす“台風の目”となって、周囲を巻き込みながら活動していくことの大切さを感じました。



秋田大学 EcoPop

環境課題をまず知ってもらうことが大切だと感じました。活動を継続し、行動につながるイベントを考えていきたいです。一人ひとりの行動は小さくても、積み重なることで環境への影響は大きくなります。「まずは自分からやってみよう」という気持ちが大切だと思いました。

連携企業
担当者様の
コメント

ヤマト運輸株式会社 秋田主管支店 櫻井様

物流業界全体のテーマであるCO₂削減について、色々な方法でアイデアを実践していただきました。機会があればまた一緒に協力して、意識変容・行動変容につなげていきたいと思います。





本コンテストにご協力いただいた皆様

(敬称略)

参加者

- ・ 秋田コア ビジネスカレッジ たまこんカルテット
- ・ 秋田工業高等専門学校 園芸科学同好会
- ・ 秋田大学 EcoPop

連携企業

- ・ 株式会社マルダイ 運営部 須藤 伸
- ・ ヤマト運輸株式会社 秋田主管支店 櫻井 将光
菊田 千秋
前田 健太郎

講師・伴走支援者

- ・ 一般社団法人あきた地球環境会議 岩本 承子
川上 由子

アイデア選考委員・審査員

- ・ 秋田県立大学 生物資源科学部 生物環境科学科
教授 木口 倫
- ・ 秋田大学 情報データ科学部 情報データ科学科
講師 熊丸 博隆
- ・ 一般社団法人あきた地球環境会議
事務局長 福岡 真理子

秋田県生活環境部温暖化対策課

〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号
TEL 018-860-1560 FAX 018-860-3881
E-mail en-ondanka@pref.akita.lg.jp



コンテストの様子は
動画でも配信しています



令和8年3月発行